

7次総ニュース VOL.1

H26.10 第7次総合計画策定事務局

第7次総合計画策定が本格的にスタートしました

第7次総合計画策定事務局が発足し、第7次総合計画の策定に本格的に着手しました。約1年間かけて検討を進め、来年12月議会への提出を目指します。

総合計画は、多治見市が目指すまちの将来像を示し、その実現のために本市が行わなければならないことを明らかにするもの。第7次計画は、平成28年度から35年度までの8年間の計画となります。



23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度
第6次総合計画（20～27年度）					第7次総合計画（28～35年度）							

第7次総合計画策定講演会を開催



10月16日(木)、総合計画策定にあたって職員の機運を高めるため、国土交通省顧問 足立敏之氏を講師にお招きし、講演会を開催しました。

足立顧問は、国土交通省中部地方整備局長を含む各地区の整備局長、技監を歴任された国土交通行政のプロフェッショナル。今までの豊富な経験から、国の動向、中部地方の課題を踏まえ、多治見市の可能性や期待について熱く講演していただきました。



人口減少に対応するコンパクトシティの考え方、リニア中央新幹線からこの地方が受ける影響、また何にも増して必要となる、東日本大震災を教訓とした防災対策（BCP※やタイムライン※の作成、防災教育）等についてのお話は、大変興味深く、総合計画に盛り込むべきヒントを多く含むものでした。第7次総合計画策定ワーキングメンバーをはじめとする聴講した職員は、総合計画策定に向け、気持ちを新たにすることができました。

※BCP…災害や事故など不測の事態を想定して事業継続の視点から対応策をまとめたもの。危機発生の際、重要業務への影響を最小限に抑えたりするためにあらかじめ策定しておく行動計画。

※タイムライン…災害等の発災前から各主体が迅速で的確な対応をとるために、時間軸に沿って、だが、どのように、何をするかをあらかじめ明確に定めた行動計画。

企画防災課7次総公開キャビネットに講演会のプレゼン資料がありますので、ぜひご覧ください。

企画部 企画防災課 第7次総合計画策定事務局
内線1298・1299